

JETRO

日本貿易振興機構（ジェトロ）のコンテンツ産業海外展開支援

デジタルマーケティング部

2024.11.06

1. ジェトロのコンテンツ産業海外展開支援の取組
2. ジェトロのコンテンツ産業支援・海外拠点整備状況
3. 今後の取組と課題

①ビジネスマッチング支援

- ・海外バイヤー獲得を目的とした海外見本市への広報出展（ライセンシングショー@香港・上海、コミコン@南ア、MIPCOM、DICMなど）
- ・「[Japan Street](#)」（バイヤー専用のオンラインカタログサイト）を活用した、日本の事業者と海外バイヤーとのマッチング支援。
- ・国内見本市（[TIFFCOM](#)、[TIMM](#)、[Anime Japan](#)）と連携したオンライン面談会、ゲーム分野のオンライン商談会も実施。



②情報収集・情報発信等

- ・ヴェネチア国際映画祭併催マーケットやカンヌ・フィルム・マーケットにおける日本映画の魅力発信を目的としたセミナーを開催
- ・各分野・地域の[コンテンツ市場レポート](#)。
- ・[世界のポップカルチャーイベント一覧](#)を公開。
- ・ビジネス短信特集ページ：「[日本アニメの存在感増す世界のポップカルチャーイベント](#)」。
- ・[コンテンツビジネスメールマガジン](#)発信。

③個別支援スキーム

- ・[中小企業海外展開現地支援プラットフォーム](#)（コンテンツ分野）設置事務所で各種相談対応。
- ・「[新輸出大国コンソーシアム](#)」専門家（パートナー）による 海外展開ハンズオン支援。

- 2023年4月、経団連クリエイティブエコミー委員会の提言(Entertainment Contents ∞ 2023) で、ジェトロ海外事務所の機能強化明記を契機に、ジェトロのコンテンツ海外拠点のコンテンツの支援機能強化を目的とした令和5年度補正事業が予算化。「新たなクールジャパン戦略」にも明記。

2024年度配置拠点

インド・ニューデリー

世界最大の人口を有する一大市場。ムンバイのボリウッドなど地場映画も盛ん。直近では、新海誠監督作品がブームとなっているほか、日本企業のJVがインドのAmazon Primeでアニメチャンネルを立ち上げるなど、日本コンテンツに対する温度感が高まっている。

24年9月にニューデリーで開催されたMela Mela Anime Japanに広報出展したほか、11月にインド最大のゴア国際映画祭に合わせて開催されるB2B展示会「Film Bazaar」に出展予定。7月からニュースレターを配信開始。

Film Bazaar

タイ・バンコク

ASEANではインドネシアと並びコンテンツ市場規模であり、日本のコンテンツを扱うプレイヤーも多数存在。また、ASEANにおいてはハブとして機能していることから、東南アジア全体へのリーチが見込める。

音楽・映像、アニメ・ゲーム等の専門家と契約、相談窓口を9月中に立上予定。10月にバンコクで開催された東南アジア最大級のBtoC向けゲーム・イベント、タイ・ゲームショウに出展。

米国・LA

ハリウッドを擁し、コンテンツ分野では世界最大の集積都市。キャラクター分野においては世界最大級のアニメエキスポを毎年開催しており、日本コンテンツのマーケットとしては重要な意義を有する。

24年4月に全米最大級の音楽フェス「コーチェラ・フェス」に合わせて米国・LA「日米コラボ音楽イベント」開催。7月のアニメエキスポに出展。



①コンテンツ産業の海外展開支援に係る拠点拡大と機能強化

- ・[拠点拡大] 現在のロサンゼルス、ニューデリー、バンコクの3拠点に加え、複数事務所に拠点機能を拡大。
- ・[拠点機能強化・基盤整備] 情報提供体制・ネットワーク構築・日本コンテンツ認知度向上、底上げの取り組み等、各拠点機能を強化。

②業界のニーズのお伺い、JETROの海外展開支援戦略への反映

- ・コンテンツ産業業界の海外展開支援ニーズをお伺いし、海外展開支援戦略に反映。
- ・経団連様、各業界団体様等と連携し、企業ニーズを把握。

③その他

- ・ジェトロの社内人材の育成、コンテンツ産業支援体制の整備。
- ・海外進出支援等、ジェトロの強みをコンテンツ産業支援向けに棚卸。